

石巻市震災復興基本計画(素案)に関する意見交換会

日時

平成23年11月23日(水) 10:00～11:45

会場

河北総合支所 3階 大会議室

参加者数

約130名

主なご意見

災害に強いまちづくり

質問・意見	回答
被災者が市街地に移転しようとした場合、空地の多くは市街化調整区域なのだが家を建てさせてくれないか。	家を建てられるのは市街化区域と定められている。
土地区画整理事業で整備したところに住めるのか。	今回の災害で逃げる道路などが不足していたので、反省点を踏まえ土地区画整理事業を行う。土地が見いだせばいろいろな方がそこに住める。
高台移転は何年かかるのか。	基本は3年だが、地元の協力状況などによって前後する。
大川地区の方は蛇田地区の新市街地には移れないのか。高台移転では生活レベルが下がるのではないか。	蛇田地区は大街道、南浜地区の非可住地となる方の住宅地と考えている。大川地区は、高台など別の用地を造成し、コミュニティ単位での移転を考えているが、場所は未定。具体的には地区の方との話し合いで決めていきたい。
防災集団移転促進事業の候補地は成田地区や二子地区としているようだが、別案を提示した場合、市で検討するのか。	地区は決定していないものであり、地権者等と話し合って決めていきたい。移転先の場所等については十分に安全を確認していくというのが基本的な考えである。別案があれば、ぜひ聞かせてほしい。
雄勝地区のうち多くの方は雄勝の外で生活している。話がまとまらず高台へ移転できる状況ではない。	雄勝地区の再生のためには、住民に戻ってもらうことが大事である。協議会で高台の候補地などがあげられているが、中心部をどうするか、意見交換により、再建が速やかにできるような方向性を探していきたい。
雄勝の被災した地域を公園化して土地を買取ってほしい。	雄勝地区は高台移転の検討を進めている。土地は堤防や公園、高盛土道路など公共事業の目的があるところは買取る方針である。公園化については、ご意見を参考にさせていただき検討する。
釜谷地区の代替地は。再度、話し合いはあるのか。	土地の代替ではなく、全壊・流出した地区は防災集団移転促進事業で高台へ移転するという考えで、地域の皆さんと意見交換をしたい。意見交換は、河北総合支所を中心に今後も行う。

質問・意見	回答
大川地区の行方不明の子どもを捜索するために必要な堤防の着工を今年中にしてほしい。	国、県、市と協議を進めている。県からの回答では、長面排水機場までの仮堤防は来年の3月までに造り、長面排水機場を利用して排水し、来年4月頃から捜査及びがれきの撤去を進める予定である。
大川小の4名がまだ、行方不明なので全員発見されるまで捜索を行ってほしい。	広域消防本部にも指示を出し、最後まで捜索は続ける。宮城県警察本部にも行方不明者の捜索を最後まで続けるということをお願いしている。仮設堤防を造って捜索することも国、県へしっかりと伝えているので、今後ともしっかりと対応する。
横須賀海岸は現状復旧するのか。	横須賀海岸は、県と市の管理している部分が各々ある。県と協議し、海岸線を元の位置に戻すよう要望している。

【要望】

- ・尾崎地区はコンクリートの堤防ではなく、合理性も考えながら桜を植えるなど、将来、子どもたちのためになるような高台や堤防を造っていただきたい。

市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す

質問・意見	回答
災害公営住宅は総合支所エリアにも造るのか。また、沿岸部の人たちが市街地の災害公営住宅に入居できるか。	総合支所エリアにも造る。災害公営住宅は全壊の方が対象、地区は関係ない。
災害公営住宅の入居にあたっては、仮設住宅の入居についての反省点を活かして態勢を万全に整えてほしい。	仮設住宅の反省点を十分検証しながら、対応していきたい。
仮設住宅大森第3団地の排水について対応願いたい。	仮設住宅の排水対策は寒さ対策と合わせて工事を実施していく。舗装等の要望もあるが、寒さ対策を優先し、その後簡易舗装や排水整備をする。

未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる

質問・意見	回答
大川地区の学校はどうなるのか。また、地域の方との話し合いをする日程は決まっているか。	教育委員会内で検討している内容を現在校保護者へ11月11日に示し意見を伺った。小中併設校とする方向で、建てる場所は、今後調整が必要だが、旧大川第二小学校跡地付近や県道河北桃生線沿いの石浜地区の横川から大川の河口に向かった山手の国有地を検討している。今後は地域の方の意見をいただきたい。今のところ日程は確定していないが、できるだけ早く対応したい。